

教育目標

1 本校の教育目標

児童生徒一人一人の人権を尊重し、障害による学習上又は生活上の困難に応じた専門的な教育を行う。また、安全・安心な学校生活を送りながら、一人一人の個性を伸長し、確かな学力や健康、体力、そして豊かな人間性などの生きる力を育み、地域社会の一員として自立し、主体的に社会参加するとともに、生涯にわたって心豊かに生きていく人材を育成する。

校訓 笑顔（一人一人が輝き笑顔あふれる子を育てる。）

挑戦（夢に向かって挑戦し続ける子を育てる。）

感謝（素直に感謝の気持ちを表せる子を育てる。）

2 本年度の重点目標 社会情勢の変化に対応したICT利活用（最終年度）

仲間とともに一人一人が役割をもち活躍するいきいきとした生活の実現

3 運営方針

(1) 一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を推進する。

ア 学習の内容段階表や個別の指導計画による授業づくりを行い、指導と評価の一体化を図る。

イ 計画的・組織的な交流及び共同学習を積極的に推進する。

ウ 校外学習等の体験学習に積極的に取り組み、社会性や共に生きる力の育成を図る。

エ 小学部から高等部までの一貫したキャリア教育の充実に努める。

オ 児童生徒会活動に取り組み、問題解決能力の育成や成就感の獲得に努める。

(2) 信頼される学校づくりを推進する。

ア 保護者、医療・福祉関係者、施設・事業所等関係者、地域住民等による学校評価を実施し、学校運営の改善に努める。

イ 保護者・地域の各関係者等との情報のやりとりを密にし、教育活動の充実に図る。

ウ 地域における特別支援教育のセンター的機能の整備・充実に努める。

(3) 児童生徒一人一人の安全・安心な教育環境の整備に努める。

ア 震災に対する組織体制を整え、健康・安全教育の推進に努める。

イ 医療的ケアの安全な実施体制の整備に努める。

ウ 外部専門家（学識経験者、医師、看護師、PT、OT、ST等）との組織的連携を図る。

エ 食に関する指導の充実に努める。

(4) 効率的・効果的な業務改善を進め、授業づくりの充実に努める。

ア Teams や WinBird を積極的に活用し、情報の共有化による業務の効率化を図る。

イ 教員の資質向上のため動画コンテンツを作成し、個々の裁量による研修の進め方を推進する。

ウ 校務分掌を三つのグループに集約し、組織的に取り組むことにより、業務の平準化に努める。

4 各部の目標

(1) 小学部

- ア 基本的な生活習慣を身に付けるとともに、生活のリズムを整える。
- イ 感じる力や考える力を育み、豊かに表現できるようになる。
- ウ 友達や先生、学校関係者と豊かな人間関係が作れるようになる。

(2) 中学部

- ア 基本的な生活習慣を身に付けるとともに、健康な体と心を養う。
- イ 障害の状態や発達の段階等を的確に把握して、機能の発達を目指す。
- ウ 豊かな感性、確かな学力を身に付け、主体的に生きていく力を身に付ける。

(3) 高等部

- ア 地域社会の中で、豊かに生きていく力を養う。
- イ 基本的な生活習慣の確立を目指し、健康に生活する。
- ウ 基礎・基本を大切に、確かな学力を身に付けて自立を目指す。
- エ 就労を目指した体験的な学習を行い、自ら考えて行動し、社会参加を目指す。